

## 第2学年国語科学習指導案

児童	2年1組	男子13名	女子10名	計23名
	2年3組	男子13名	女子10名	計23名
指導者	2年1組	高橋 智也		
	2年3組	八重樫祐子		

- 1 **単元名** お話の人物と自分を比べて読み、感想を書こう  
**学習材名** 中心学習材 わたしはおねえさん（光村図書2年）  
 補助学習材 すみれちゃんシリーズ（石井睦美 偕成社）

## 2 児童と単元について

## (1) 児童について

本学年の児童は、これまでに文学的文章の学習において主に次の5つの読みの方法を学習した。本校で設定している付けたい力「物語の内容の大体をとらえる」（読むこと ウ）に関しては3点である。1点目は「設定をとらえる」、2点目は「文章の並べ替えをする」、3点目は「あらすじをとらえる」ことである。「場面の様子や登場人物などについて想像を広げ、叙述と結び付けて読む」（読むこと ウ）に関しては2点である。1点目は「挿し絵などを手がかりに想像する」、2点目は「登場人物の会話・行動を基に想像する」ことである。これらの方法で読み、言語活動として音読発表会をしたり、自分の好きなところを紹介する「お話紹介カード」や中心人物に言ってあげたいことをまとめた「お手紙ブック」、どんな人物かを考えた「人物の感想」を書いたりする経験をしてきている。

昨年度のC R Tの結果を見ると、読むこと領域全体の結果は、全国比10ポイント程度上回っていることから、読むことの力は定着しつつあると考える。児童はこれまでに、音読発表会をしたり、感想を書いたりする学習を通して場面の様子を考えたり、登場人物の行動の変化をとらえたりすることができるようになってきている。しかし、その反面、内容をよく考えて読んでいなかったり、細部に気をつけないで読んだりすることがある。そのため、登場人物の会話、行動と結び付けて想像を膨らませたり、自分の経験と結び付けて感想を書いたりする点について重点的に指導していくことが必要であると考えられる。

読書については、多くの児童が図書室によく通ったり、学年棟の本を手にとったりし、意欲的に読み進めている。本単元での学習を通して自分と同年代の中心人物が出てくる物語に出会わせ、自分と比べて読む読書の体験をさせ、読書の幅を広げていきたい。

## (2) 単元と学習材について

本単元「お話の人物と自分を比べて読み、感想を書こう」では、学習指導要領・読むこと指導事項ウに関する「物語の内容の大体をとらえる力」、「場面の様子や登場人物の言動などについて想像を広げ、叙述と結び付けて読む力」を付けるために、中心人物と自分を比べて読み、感想をまとめてお家の人に伝えるという言語活動を行う。

本学習材「わたしはおねえさん」は、小学校二年生の「すみれちゃん」が中心人物の物語である。二年生になったの嬉しい気持ち、誇らしい気持ち、心の葛藤や気持ちの変化について、話者が中心人物に

寄り添って描かれており、中心人物「すみれちゃん」に自分を重ね合わせて行動の理由を想像できると考えられる。また、中心人物「すみれちゃん」が妹との関わりの中で出会う事件や心の葛藤に親近感を持ち、共感して読み進めることができる作品なので、「自分だったら」と自分と比べながら感想をもつのに適した学習材である。さらに「自分と比べる」という観点から同年代の主人公が登場する他の物語を読むという読書体験へと結び付けていくことも期待できる。

### (3) 単元指導計画の工夫について

**ア 付けたい力と読みの方法** 【付けたい力】 ○読みの方法

#### 【物語の内容の大体をとらえる力】

○文章の並べ替えを通してあらすじをとらえる。

深める段階のはじめに、あらすじをとらえさせるために、中心人物の行動を抜き出した文の並べ替えを行う。まず、中心人物の行動を抜き出した短冊を各自並べ替えさせ、全体で確認することであらすじをとらえさせる。次に、中心人物が行動している場所が変化していることをとらえさせ、出来事を短い言葉でまとめさせる。このことで、場面の移り変わりとらえたり、変化した中心人物に気づいたりすることができ、内容の大体をつかむことができると考える。この活動は、登場人物の会話や行動を基に想像したり、場面の移り変わりに気をつけて場面ごとの様子を想像する読みの方法のヒントになる。児童が見通しをもってこの活動ができるように、朝学習等の時間を使って事前に学習材を読ませておき、児童が家庭での音読と結び付けて何度も学習材を読むことができるようにする。

#### 【場面の様子や登場人物の言動などについて想像を広げ、叙述と結び付けて読む力】

○登場人物の会話や行動を基に想像する。

・行動 ・会話

○場面の移り変わりに気をつけて、場面ごとの様子を想像する。

・行動 ・会話

読みの方法1点目「登場人物の会話や行動を基に想像する」については深める段階で指導する。まず、想像させることは中心人物の心情である。自分と比べて感想を書くためには、中心人物の心情を想像しなければならない。中心人物の行動、会話に着目させることで叙述に基づいた想像ができるようにする。

読みの方法2点目「場面の移り変わりに気をつけて、場面ごとの様子を想像する」についても深める段階で指導する。心に残ったところを考えるためには、中心人物の心情の変化を想像しなければならない。中心人物の違う場面での同じ行動を比べて読ませ、その前後の行動や会話に着目させることで、中心人物の心情の変化を叙述に基づいて想像できるようにする。

#### **イ 言語活動**

「物語や、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと。」

様式：感想カード

字数：300字程度

要素：書名、作者名、中心人物の心に残った会話・行動、理由、自分と比べて

目的：中心人物と自分とを比べてもった感想を家の人に伝える。

相手：家の人

広める段階では、深める段階で行った読みの方法を使って「すみれちゃんシリーズ」や自分と同年代の子どもが登場する本を読み、感想カードの要素を入れて感想を書く活動を行う。学年が1つ上がっておにいさんおねえさんとなり、お話の人物と自分を比べて感想を書けるようになったことを伝えるために、相手は家の人とする。家の人に感想を伝えるためには、自分の心に残ったところはどこかをはっきりさせることや理由はどうしてかを明らかにし、自分と比べて感想を書く必要があることを、単元を通して意識させていく。

そのために、見通す段階で並行読書に取り組む本を紹介し、並行読書に取り組む意欲をもたせるようにする。また、並行読書するように声掛けをする。そして広める段階において自分が選んだ本の感想を書く時には、あらすじや心情の変化に気をつけて読み、心に残ったことを確認しながら、要素を入れて感想を書くように支援していく。そして家の人に読んでもらう前に、自分が書いた感想を友だち同士交流して読み、お互いの思いや感じ方、考え方を認め合うことで充実感を味わわせていきたい。

### ウ 見通す場と振り返りの場

単元を見通す段階で、これまでの学習で書いてきた感想文を振り返る。これまでに中心人物に言いたいことを考えたり、人物について感想をまとめたりしたことを確認する。児童には事前に学習材を読ませ、初発の感想を書かせておく。これは指導者側で児童の初発の感想の傾向をつかむことができるようにしておき、感想をもっと詳しく書くためには中心人物と自分とを比べて考えるといいことを児童と確認するためである。その上で、「お話の人物と自分を比べて読み、感想を書こう」という単元名を設定する。児童にはモデル文を提示することで、どのような学習が必要であるかをつかませる。さらにゴールでの目指す姿（①すみれちゃんシリーズや同年代の人物が登場する物語を自分と比べて読むこと②心に残った行動を自分と比べて感想を書きお家の人に伝えること）について話し合い、その上でゴールに迫るための道筋を単元の学習計画として話し合ってまとめていく。

学習の振り返りはまとめる段階で行う。単元全体を通して学習したことを振り返る活動を行う。書かせる項目については、自分と比べて感想を書くことについて、同年代の人物が出てくる物語を読むことについての2つとする。さらに、お家の人からの感想をもとに、自分の書いた文章を振り返ることで自己評価を行う。これらの活動を通して自分が学習したことを自覚させ、生きた力として身につけていきたい。

### 3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	○物語に描かれている世界に浸りながら、自分の心に残った行動を見つけて、登場人物の行動や場面展開について想像を広げながら読もうとすることができる。	・物語に描かれている世界に浸りながら、自分の心に残った行動を見つけて、登場人物の行動や場面展開について想像を広げながら読もうとしている。

読む能力	<p>◎登場人物の心情の変化について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げることができる。</p> <p>○文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表しあうことができる。</p>	<p>・あらすじ、登場人物の会話、行動、場面の様子を基に物語の大体をとらえた上で、登場人物の心情の変化について想像を広げている。〈ウ〉</p> <p>・文章の内容と自分が既にもっている知識や経験、読書体験などを結び付けて、感想を書いている。〈オ〉</p>
言語についての知識・理解・技能	<p>感想を表す言葉には様々なものがあることを知り、本や文章を読んで感想を書く際に用いることができる。</p>	<p>・感想を書くために、感想の語彙を考え、的確に使っている。〈イ（ウ）〉</p>

#### 4 単元の指導計画と評価規準（全 10 時間）

段階	時	学習活動	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能	補助学習材
見通す	1 3 組 本 時	これまでの学習で書いてきた感想文を振り返り、学習のめあてと学習計画を考える。モデル文をもとに、目指す内容をつかむ。	学習のめあてと計画を表にまとめ、これからの学習に対して感想を書いている。 (シート)			
	2	新出漢字、語句調べをする。並行読書に取り組むための本の紹介を聞く。			分からない語句について、辞書を利用して調べている。 (観察)	「すみれちゃん」シリーズ 同年代の人物が登場する物語
深める	3	「わたしはおねえさん」の中心人物の行動の文の並べ替えをし、あらすじをとらえる。		物語のあらすじをとらえている。(発言・シート)		
	4	中心人物の行動の変化をとらえ、場面の様子や中心人物の様子を想像する。		行動の変化を根拠に場面の様子や中心人物の様子を想像している。 (発言・シート)	感想を書くために、感想の語彙を考え、的確に使っている。 (観察・シート)	

	5	心に残った行動や会話文を探して「心に残ったことカード」に書く。	カードの要素をとらえて進んで「心に残ったことカード」を書こうとしている。(観察)	中心人物の行動や会話文を根拠に心に残ったことを見つけている。(発言・カード)		
	6 1 組 本 時	心に残った行動や会話文の中から一番心に残ったことを選び「心に残ったことカード」と自分とを比べて「感想カード」に書く。		中心人物の行動や会話文と自分とを比べながら、感想を書いている。(発言・カード)		
広 め る	7 8	すみれちゃんシリーズや同年代の人物が出てくるお話を読み、自分と比べて感想をまとめる。	自分の好きな本を決め、進んで「感想カード」を書こうとしている。(観察)	物語のあらすじをとらえている。(発言・シート) 要素を入れて「感想カード」を書いている。(カード)	感想を書くために、感想の言葉を考え、的確に使っている。(観察・カード)	「すみれちゃん」シリーズ同年代の人物が登場する物語
	9	自分が書いた感想を友だちと交流する。	要素に気をつけて友だちの「感想カード」を読もうとしている。(観察)	要素に気をつけて「感想カード」を読んでいる。(観察・シート)		
ま と め る	10	単元を振り返り、感想を書く時の要素について振り返る。	観点に従って学習を振り返り、良くできたところ、難しかったところを確かめようとしている。(観察)	観点に従って学習を振り返り、良くできたところ、難しかったところを確かめている。(発言・シート)		

5 本時の指導（6／10）

（1）本時の目標

心に残った行動や会話文の中から一番心に残ったことを選び、自分の経験と比べて感想を書くことができる。

（2）本時の評価の観点と評価規準

評価規準 観点	A十分満足できる	Bおおむね満足できる	C努力を要する児童への手立て
読む能力	<p>Bに加えて 自分と比べたことを詳しく書くことができる。</p> <p>例) <b>心に残ったこと。</b> なぜかという、すみれちゃんがかりんちゃんをゆるしてあげたからです。 わたしだったらゆるせずにおこるかもしれません。だって、ノートにらく書きされるとこまるからです。でもゆるしたすみれちゃんはやさしくおねえさんらしいと思いました。この前、わたしは友だちと遊んでいてけんかになっておこってしまいました。わたしもすみれちゃんのようにやさしくゆるしてあげようになりたいと思いました。</p>	<p>一番心に残った行動や会話文を選び、自分と比べて感想を書くことができる。</p> <p>例) <b>心に残ったこと。</b> なぜかという、すみれちゃんがかりんちゃんをゆるしてあげたからです。 わたしだったらゆるせずにおこるかもしれません。だって、この前も友だちとあそんでいてけんかになっておこってしまったからです。でもおねえさんらしくゆるしたすみれちゃんはやさしいと思いました。</p>	<p>板書を見て話し合ってまとめたことを確認し、分かったことを確かめさせる。</p>

（3）展開

段階	学習活動 ○発問・期待する児童の反応	教師の支援 <b>学習内容</b> ◎評価 ・留意事項
見通す	<p>1 単元のねらいを確認するとともに、前時の学習を想起する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識、相手意識を明確にもたせるために、お話の人物と自分とを比べて感想を書いていること、それをお家の人に伝えることを確認する。</li> <li>・前時は心に残った行動を見つけ、「心に残ったことカード」を書いたことを確認する。</li> </ul>

	<p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>すみれちゃんと自分をくらべてかんそうを書こう。</p> </div> <p>3 課題に対する視点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残ったこと</li> <li>・理由</li> <li>・自分とくらべる（同じところ・違うところ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習の流れを説明して、見通しをもたせる。</li> <li>・自分の感想を相手に伝えるためには、自分が心に残ったのはどこの部分か、その理由はどうかを明らかにした上で自分の考えを書くことが大事だということを確認する。</li> </ul>
<p>深 め る</p>	<p>4 課題に対する自分の考えをもつ。</p> <p>(1) モデル学習をする。</p> <p>○先生も一番心に残った行動や会話文を選びました。そして感想を書きました。</p> <p>○先生が書いた感想は、すみれちゃんと同じですか、違いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じです。「自分にも同じことがあった」と書かれているからです。</li> </ul> <p>○自分と違う時にはどんなことを書きますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分だったらこうする。</li> <li>・自分だったらこう言う。</li> <li>・自分だったらこう思う。</li> </ul> <p>○感想はどのような順番で書かれていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに心に残ったところ、次にその理由、最後に自分と比べて書かれています。</li> </ul> <p>(2) 一人学びをする。</p> <p>○すみれちゃんのしたことや言ったことで一番心に残ったカードを選びましょう。</p> <p>○自分が選んだカードの感想を書きましょう。</p> <p>(3) ペアで読み合う。</p> <p>○「心に残ったこと」「わけ」「自分と比べて」の3つが入っているか、隣の人と読み合ひましょう。</p> <p>(4) 全体で交流する。</p> <p>○隣の人のよかったところを発表してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に教師が選んだ行動や会話文を提示し、それに対する感想を提示し検討することで、自分と同じところ、違うところという視点で感想を書いていることに気づかせる。</li> <li>・「自分だったらこうする」「こう思う」「こう言う」「自分にも同じことがあった」などの視点で自分と比べられることを押さえる。</li> <li>・必要に応じて、複数のモデル文を用意して提示する。</li> <li>・自分と同じところ、違うところ、という視点でカードを選ばせ、感想カードに貼らせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>行動と知識、経験とを結び付けて考えること 「自分だったらこうする」「こう思う」「こう言う」「自分にも同じことがあった」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで読みあってよかったところを全体で交</li> </ul>

	い。	流させることにより、3つの要素を入れるよ さを確認する。
ま と め る	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>○自分と比べて感想を書く時に、大事なことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残ったところ、理由、自分と比べての3つの順序に気をつけて書く。</li> <li>・「自分ならばこうする」を考えて書く。</li> <li>・「自分はこう思う」を考えて書く。</li> <li>・「自分はこう言う」を考えて書く。</li> <li>・「自分にも同じことがあった」を考えて書く。</li> </ul> <p>6 学習について振り返る。</p> <p>○今日の学習を振り返って分かったことや、今日の学習でよいと思ったことを発表しましょう。</p> <p>7 次時の学習について知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書により、自分と比べて書く観点を押さえる。</li> <li>・振り返りシートを使って学習したことをまとめさせる。</li> <li>・振り返りシートを使って、学習したことに対する感想をまとめさせる。</li> <li>・感想をペアで交流したり、全体で交流したりして学習内容を共有する。</li> <li>◎心に残った理由、自分と比べたことを入れて感想を書くことができたか。(感想カード・振り返りシート)</li> <li>・次時は「すみれちゃんシリーズ」や同年代の人物が出てくる本から自分で選んで感想を書くことを確認する。</li> </ul>

(4) 板書計画

㊦

自分とくらべてかんそうをかくためには、

○心に残ったこと

のじゅんじよで書く。

りゆう

○自分とくらべるために

- ・自分だったらこうする
- ・自分にはこう言う

○自分にもおなじことがあった

の三つ

ひとりで

みんなで

自分とくらべて	理由	心に残ったこと
モデル文	モデル文	モデル文

自分とくらべる (おなじところ・ちがうところ) りゆう

㊧

「わたしはおねえさん」 いしい むつみ

すみれちゃんと自分をくらべてかんそうを書こう。



5 本時の指導( 1/10 )

(1) 本時の目標

学習の見通しをもち、単元のめあてと学習計画を作ることを通して、学習に対する意欲をもつことができる。

(2) 本時の評価の観点と評価基準

観点	評価基準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手立て
国語への関心・意欲・態度		<p>Bに加えて                      これからの学習に対して意欲的な感想を書いている。                      例)「自分とくらべたことをくわしく書けるようになって、かんそうをうちのの人に読んでもらいたいです。」</p>	<p>学習のめあてと計画を表にまとめ、これからの学習に対して感想を書いている。                      例)「お話のじんぶつと自分をくらべて読み、かんそうを書こう。」                      ・あらすじをとらえる。                      ・じんぶつの気持ちをそうぞうする。                      ・自分とくらべてかんそうを書く。                      ・自分のすきな本のかんそうを書く。                      ・友だちのかんそうを読む。                      「前よりもじょうずにかんそうを書けるようになりたいです。」</p>	<p>班や全体での話し合いを振り返り、板書の内容を参考にまとめさせる。</p>

(3) 展開

段階	学習活動 ○発問 ・期待する児童の反応	教師の支援 学習内容 ◎評価 ・留意事項
見通す3分	<p>1 本時の学習課題を確認する。                      学習のめあてとけいかくを考えよう。</p>	<p>・本時の学習の流れを説明し、まとめる段階までの見通しを持たせる。</p>
深める 32分	<p>2 今までの学習(物語文)の足跡を振り返る。                      ○今までの物語文では、どんなことを学習してきたか思い出してみましよう。                      ・「ふきのとう」では音読発表会                      ・「スイミー」ではお手紙ブック                      ・「黄色いバケツ」では感想カード                      ・「お手紙」では紹介カード</p> <p>3 単元のねらいを考える。                      (1) 学習のめあてを考える。                      ○「わたしはおねえさん」では、どんなことができるようになりたいですか。                      ・感想(自分と比べたこと)をたくさん書けるようになりたい。                      ・音読が上手になりたい。</p>	<p>・今までの学習から、できるようになったこと、上手になったことを確かめる。</p> <p>学習のめあてを考える。                      ・お話の人物と自分を比べて読み、感想を書こう。                      ・今までの学習から、もっと上手にできるようになりたいことを考えさせる。</p>

<p>深める 32分</p>	<p>○はじめに感想を書きましたが、上手く書けましたか。 前の学習でも感想を書きましたが、「自分と比べたこと」を考えるのが難しいという人が多かったですね。</p> <p>○「わたしはおねえさん」では、今までよりもっと上手に感想を書けるようになりましょう。 とくに、自分と比べたことを詳しく書けるようになるといいですね。</p> <p>○どのような感想を書ければいいのか見てみましょう。</p> <p>(2) ゴールを考える。</p> <p>○上手に書けるようになったら、その感想をどうしたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かに読んでもらいたい。</li> <li>・おうちの人に読んでもらいたい。</li> </ul> <p>4 課題に対して自分の考えを持つ。</p> <p>(1) 学習計画を考える。</p> <p>○感想を書けるようになるために、どのような学習をしていけばいいでしょう。班で相談して、カードに書きましょう。</p> <p>○みんなのカードを黒板に貼って、学習計画を作りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面を分ける。様子に気をつけて読む。 (あらすじをとらえる。)</li> <li>・人物がしたこと、言ったことに気をつけて読む。自分シールを貼って気持ちを考える。 (人物の気持ちを想像する。)</li> <li>・いいなと思うところを書き抜く。言ってあげたいこと、わけ、自分と比べて感想を書く。 (自分と比べて感想を書く。)</li> </ul> <p>5 学習材を読む。</p> <p>○自分と比べて感想を書くので、自分と似ているところがないか探しながら読みましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時に入る前に学習材を何度か音読させ、初発の感想を書かせておく。書いたときに難しかったことや上手く書けなかったことを思い出させる。また、以前の学習の振り返りで書いた「難しかったこと」も思い出させ、自分と比べて感想を書くことを学習のめあてとする。</li> <li>・モデル文を提示して、目指す内容をつかませる。</li> <li>・「スイミー」の学習で、感想を5年生に読んでもらった時の喜びを思い出させ、今回も誰かに読んでもらいたいという相手意識をもたせる。</li> <li>・今回は、まず友達同士で読み合って交流し、その後、より上手に書けるようになったことを伝えるために、家の人に読んでもらう。</li> </ul> <div data-bbox="970 1025 1481 1236" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習計画を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらすじをとらえる。</li> <li>・人物の気持ちを想像する。</li> <li>・自分と比べて感想を書く。</li> <li>・自分の好きな本の感想を書く。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習から、読みの方法や感想の書き方を思い出させる。</li> <li>・カードを黒板に貼らせて、内容や順序、学習時間を整理する。</li> <li>・どのような方法で学習していくか、具体的な活動についても確認する。</li> <li>・同年代の人物が出てくる本を並行読書しておき、最後にその中から好きな本を選んで感想を書くことを伝える。</li> <li>・読む視点を与えてから教師が範読する。</li> </ul>
--------------------	---	--

ま と め る  10 分	<p>6 学習のまとめをする。 ○学習のめあてと計画を確かめましょう。</p> <p>7 学習について振り返る。 ○学習シートに学習のめあてと計画を書きましょう。 この学習で楽しみなことや、がんばりたいことも書 きましょう。</p> <p>8 次時の学習について確認する。</p>	<p>・板書で振り返る。(学習のめあて、学習 計画の内容や順序、学習時間)</p> <p>◎単元の学習計画をまとめることがで き、学習に対する意欲が見られたか。 (シート)</p>
---------------------------------	--	--

(4) 板書計画

⑦ふりかえりをする。 一時間

⑥友だちのかんそうを読む。 一時間

⑤自分の好きな本のかんそうを書く。 二時間

④自分とくらべて  
かんそうを書く。 二時間

③じんぶつの気もちを  
そうぞうする。 一時間

②あらすじをとらえる。 一時間

①かん字れんしゅうと  
いみしらべをする。 一時間

わたしはおねえさん  
(④) 学しゅうのめあてとけいかくを考えよう。)

絵

学しゅうのめあて

学しゅうのながれ

①学しゅうのめあてを考える。

②学しゅうけいかくを考える。

③まとめを書く。

お話のじんぶつと自分をくらべて読み、かんそうを書こう。

③学しゅうけいかく

本単元の学習指導一覧表

単元名

お話の人物と自分を比べて読み、感想を書こう

中心学習材

わたしはおねえさん

目標:登場人物の心情の変化について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げることができる。(読むこと ウ)

文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。(読むこと オ)

段階	主な学習活動	主な評価	○読みの方法 ・補助学習材
<p>見通す</p> <p>単元全体のめあてをつかみ、学習計画を知る。</p>	<p>①(3組本時)これまでの学習で書いてきた感想文を振り返り、学習計画を考える。</p> <p>②新出漢字、語句調べをする。並行読書に取り組む本の紹介をする。</p>	<p>①学習の見通しをもち、単元のめあてと学習計画を作ることを通して興味をもつことができる。 (関:シート)</p> <p>②分からない語句について、辞書を利用して調べている。 (言:観察)</p>	<p>・「すみれちゃんシリーズ」 ・「同年代の人物が登場する物語」</p>
<p>深める</p> <p>目的に沿って中心学習材を読み取る。</p>	<p>③「わたしはおねえさん」の行動の文の並べ替えをし、あらすじをとらえる。</p> <p>④中心人物の行動の変化をとらえ、中心人物の様子を想像する。</p> <p>⑤心に残った行動や会話文を探して「心に残ったことカード」に書く。</p> <p>⑥(1組本時)心に残った行動や会話文の中から一番心に残ったことを選び「心に残ったことカード」と自分とを比べて「感想カード」に書く。</p>	<p>③物語のあらすじをとらえている。 (読:発言、シート)</p> <p>④行動の変化を根拠に中心人物の様子を想像している。 (読:発言、シート)</p> <p>⑤中心人物の行動や会話文を根拠に心に残ったことを見つけている。 (読:発言・カード)</p> <p>⑥中心人物の行動や会話文と自分とを比べながら、感想を書いている。(読:発言、カード)</p>	<p>○文章の並べ替えを通してあらすじをとらえる</p> <p>○登場人物の会話や行動を基に想像する。</p> <p>○場面の移り変わりに気をつけて、場面ごとの様子を想像する。</p>
<p>広める</p> <p>学んだことを生かし、感想カードを書く。</p>	<p>⑦⑧すみれちゃんシリーズや同年代の人物が出てくるお話を読み、自分と比べて感想をまとめる。</p> <p>⑨自分が書いた感想を友だちと交流する。</p>	<p>⑦⑧物語のあらすじをとらえている。 (読:発言、カード)</p> <p>要素を入れて「感想カード」を書いている。 (読:カード)</p> <p>⑨要素に気をつけて「感想カード」を書いている。 (読:観察)</p>	<p>○登場人物の会話や行動を基に想像する。</p> <p>○場面の移り変わりに気をつけて、場面ごとの様子を想像する。</p> <p>・「すみれちゃんシリーズ」 ・「同年代の人物が登場する物語」</p>
<p>まとめる</p> <p>学習の振り返りをする。</p>	<p>⑩単元を振り返り、感想を書く時の要素について振り返る。</p>	<p>⑩観点に従って学習を振り返り、良くできたところ、難しかったところを確かめている。 (読:発言、シート)</p>	

ゴールに据える言語活動

【言語活動】物語や、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと。【様式】感想カード  
 【言語能力】物語を読み、場面の様子や登場人物の言動を基に自分と比べて感想を書く。感想を家の人に伝える。  
 【要素】中心人物の心に残った会話・行動・理由・自分と比べて